

はじめに

平成 24 年度 尼崎市青年使節団
団長 中川 一

尼崎市とアウクスブルク市は、1959（昭和 34）年 4 月 7 日に、日本とドイツの間で初めての姉妹都市提携を締結して以来、絶え間のない友好親善の歴史を積み重ねてきました。

また、日本とドイツは、昨年、交流 150 周年を迎え、尼崎市とアウクスブルク市が姉妹都市として 50 年以上にわたって交流してきた伝統がある中で、今回、私達が尼崎市からの 16 団目の青年使節団として、アウクスブルク市を訪問させていただく機会を得たことは、大変に意義深いものでした。

私達は、出発に先立ち、ドイツやアウクスブルク市の歴史や文化、姉妹都市提携の経過、そしてドイツ語などの研修や準備を整えて参加し、そしてアウクスブルク市ではホームステイ受入家庭の皆さんはもとより、多くの市民の方々と友好交流の輪を広げました。

滞在当初はコミュニケーションの困難さにはささか戸惑いを感じる部分もありましたが、日程をこなす中で、団員達はホームステイや交流を通じてアウクスブルク市の皆さんの温かさにふれ、国境を越えたすばらしい友人を得ることができたようです。

見るもの、聞くものすべてが新鮮に感じられる、ドイツ・アウクスブルク市での体験は、私達にとっての大切な思い出であり、今後の生活や人生に少なからず影響を与えていくものと信じています。そして、今回、アウクスブルク市を訪問した団員が、これからの尼崎市とアウクスブルク市の新たな交流の担い手となりますことを願って止みません。

最後になりましたが、今回の青年使節団派遣事業に多大のご尽力をいただきました尼崎市の関係者や研修においてご指導いただいた講師の皆様、そして私達を温かく迎えていただいたアウクスブルク市の Dr. グリーブル市長をはじめ市民や関係者の皆様に、心からの感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。